

# 志士の会 2020～2024

2023 リベンジ志士の会→

## 2024 志士の会

2024年の志士の会が開かれました。

上野の西郷さんの銅像近くのレストランで、飲み放題、持ち込みOKでした。

福岡から稲永君、広島から松浦君の参加もあり、22人の参加でした。

大幹事、三宅君の挨拶から始まり、稲永君の乾杯の音頭で始まったが、

飲み放題でもあり、森田さんの有難い「煮卵とキュウリ」の差し入れもあり、

大いに盛り上がりました。

3時間程、飲み、各人報告、歓談を続けてお開きとなりました。全員集合写真が

撮れなかった、残念。



各人報告も、歓談話題も沢山あり、いつものヤジを交えながら、家族の事、如何に人生を楽しんでいるか、お墓の事、病気の事、等々、年代ならではの話題で大いに

盛り上がりました。

本当に、飲み放題で、皆色々な酒を、かわるがわる飲んでた。かなりの量を飲んだようだ。参加者の元気な姿を小さく紹介します。



#### 敬称略

松浦、牛島、城野、稲永、森田、河合  
飯田（眞理）、須河内、篠塚、小島、飯田（廣美）、高鍋、  
吉原、山根、棚田、森藤、原、田邊  
高本、高山、太田、三宅

福岡から関君一家3人が参加予定だったが、突発的事情で参加出来なかった、残念。

色々な話題で談笑したが、志士の会の生い立ち、筑志会の生い立ちの説明から始まり、年齢もそこそこになって来て、両会に参加するメンバーもある程度限られて来た背景から、年1回の志士の会、年3回の筑志会の合体論も話題にでた。

今後検討していくことになるろう。

いづれにせよ、この21回生の団結と親交は、稀なるもの、楽しみな機会として頑張っ  
て続けて行きたいものだ。

**また 会おう!**



## 2023 リベンジ 志士の会

**いや〜、楽しかった!!**

コロナで4年間も中止になっていた、古希の祝い、志士の会が

リベンジ志士の会として6月11日(日)に開かれた。

かねてからの提案である屋形船による久々の邂逅、福岡、広島からの参加者を含め  
屋形船23名、2次会を入れると27名で楽しんだ。

当日は雨が予報されていたが、幸い終日小雨がちょっと降ったくらいで、皆、  
雨に悩まされる事も無かった。福岡からの男女が「晴れ女」「晴れ男」だったと言う話も  
ちらほら。

福岡からは、小西さん、田所さん、松本(収)君、広島から松浦君が参加。1次会では  
収まらないだろうと2次会も準備されていたが、2次会には福岡から関君(奥さんの  
せっちゃんと息子の3人)、待鳥君が参加した。

まずはその一部の写真を見てもらおう(順不同)、編者も久し振りの同級生との飲み会  
に酔い痴れて、一人一人の顔の写真を撮るのを忘れていた。とは言え、顔は4年前と  
全く変わってなかった(笑)。

参加者(敬称略)は、女性陣 飯田(廣美)、飯田(眞理)、河合、小西、田所、森田、  
脇、福嶋君奥さん、棚田君奥さん、関君奥さん、男性陣は 太田、小島、城野、須河内、  
添田、高本、棚田、田邊、原、福嶋、松浦、松本、吉原、三宅、関、待鳥、関君息子。



三宅幹事挨拶





女性陣からの、「今日の酒は今日飲む！、明日に延ばさない」の威勢の良い挨拶で勢いづけられ、各人の近況報告にもヤジ？が飛んだり、合いの手が入ったり、、、沢山の美味しい料理の出たが、何を食べたのか良く覚えてない。  
屋形船も大きくも揺れず、酔い止めを事前に飲んでいたので心配ない航海だった。





河合さんが、お土産（東京の濃い海苔？）が3つ当たるジャンケンゲーム全員を

リードし、またまた盛り上がり、なんと福岡から来た人々が勝利した。

宴もたけなわの頃、船は東京湾内「お台場」近くに停船して、皆、屋形船のデッキ（屋上）に上がり、湾内の景色を楽しんだ。



潮風が気持ちよかったが、東京湾・お台場は施設やビルが多く、ちょっと味気ない海である。しかし、夜景は素晴らしいと評判。



後ろのへんてこな建物は台場にあるフジテレビ。

フジテレビの右側の方を見ていた者が、「あっカバ号が入水している！」と叫んだ。

見ると、陸上からバスが海へ水しぶきを上げて入水したところだった。

これは水陸両用のバスで、お台場付近を回るサービス。

たまたまカメラを持ってなかったので、**「カバが カバ号を撮り損ねた！」**と自分で苦笑した。

船が帰路につこうと回頭（方向転換）したころから、皆船中に戻り宴会は続いた。







楽しい宴会も続いているが、船が船着き場に到着し、2時間あまりの屋形船ツアーは終わった。集合写真を撮ろうと皆集まった。



名残り惜しく、下船すると、誰かが「雨も降ってないし、外でも集合写真撮ろうよ!」と言いだして、外でも集合写真を撮る事になった。



楽しさの「物足りなさ」を感じながら、5-6分の距離を歩いて、  
2次会の会場に向かった。

2次会会場では、何やかや言いながら、女性軍はかたまって座ってしまった。  
小西さんは帰路のフライトの関係で、会場を後にし、森田さんも参加出来なかった。  
太田君のリードで2次会が始まり、途中から待鳥君、関君一家が到着。



手前は関君の奥さん 奥が棚田君の奥さん

右が福嶋君の奥さん



関君親子

編者は関君の前に座り、関君ともゆっくり話せて良かった。東京にいた頃の昔話など、色々な話をしてくれた。この東京の志士の会の集まりは元々関君らが仲間を集めて始めたそうで、現在までつながっている。筑士会の方は、亡くなった笹原君等の小グループの飲み会が発端になっている。

昔から、何処にいても同級生との飲み、語らいは楽しいものだと再認識させられた。





そろそろ、時間的にお開きに近くなった頃、幹事三宅君が編者に校歌と応援歌の  
斉唱をリードしろ！との命令？が下った。

えっ！応援歌は1番は覚えとるが、2番は？？？と言いながら、印刷された校歌・  
応援歌を渡され、「しぶしぶ、、、しかし喜んで（笑）」歌い始めた。

もう忘れた人もおるやろうけん、ここで再度記しておく。

広い酒場ではあるが、他の客も居るので、あまり大声では歌わないと許可をもらい、  
小さくも力強く斉唱したが、途中、三宅幹事から「声が小さい！」との檄が何度も飛び、  
次第に声も大きくなった。

筑紫丘高校校歌

1. 丘上吾等偲 遙々筑紫国原 思出夢遠 民族歴史荷 日本守護
2. 丘上吾等立 碧空港彼方 盛上大都 東西文化学 日本開拓
3. 丘上吾等若 高校吾等若 若人此处集 健康叡智正義 日本創造

漢文調やけど、ちゃんと歌えるや？

### 筑紫丘高校応援歌

1. 聴け玄海の波荒う その名も古き筑紫野に 久遠の幸を寿ぎて  
新たに建てる我等こそ 栄えある歴史飾らんと 胸躍かす健児かな
2. 栄えある友よ若き日の 進取の意気に奮い立ち 覇業目指して頃に  
鍛えし腕に名を秘めて 千里の駒に鞭当てん 奮え筑高健児かな

どうだ、歌えたかな？

歌い終えて、恒例の編者による、フレ〜〜フレ〜〜筑高！！のエールを  
(大声で?) 決めてお開きとなった。

関君も嬉しそうに必死で歌っていた姿が印象的だった。

何人かが、「改めて考えると、国を守らん、開かん、作らんと校歌や応援歌は  
凄い歌詞だね、でも良いね」との感想が出た。本当にそうだと思う。

やはり 21 回生の同窓会は「凄い!」「楽しい!」

皆健康に留意して、先ずは喜寿 (77 歳) を全員で祝おう。そして更に傘寿 (80 歳)、  
米寿 (88 歳)、更に卒寿 (90 歳) まで皆で会えるように頑張ろう!

本当に楽しい集まりだった。

**また会おう!**

